



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 J P ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 山口 洋
(コード番号 : 2749)
問合せ先 常務取締役管理部長 萩田和宏
(T E L 052 - 933 - 5419)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期（連結）業績との差異に関するお知らせ

平成 22 年 3 月期第 2 四半期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の当社業績につきまして、前年同期と比較し、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結業績の差異

(1) 第 2 四半期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期（当期） 純利益
前期実績（A）	3,544	219	390	238
当期実績（B）	3,946	374	401	222
増減額（B - A）	401	155	10	15
増減率	11.3%	70.6%	2.6%	6.6%

(2) 差異の理由

売上高につきましては、アミューズメント関連事業において、不採算店舗からの撤退を引き続き進めることにより、売上高が 556 百万円（前年同四半期比 20.9% 減）と減少し、飲食事業においては、アミューズメント施設併設の飲食店が当第 2 四半期連結累計期間に 2 店舗を開店いたしましたが、不採算店舗であった 12 店舗を閉店いたしましたので、売上高は 364 百万円（同 17.2% 減）となりました。

また、子育て支援事業においては、当第 2 四半期連結累計期間に保育所を 5 ケ所新設し、学童クラブ 4 施設を新たに運営受託し、売上高は 3,023 百万円（同 26.0% 増）と好調に推移し、その他の事業における売上高は、オフィスコーヒー事業を現状維持し 2 百万円（同

12.8%減)となりました。

これらの結果、当社グループの売上高は 3,946 百万円(同 11.3%増)と堅調に推移いたしました。

営業利益につきましては、子育て支援事業においては、増収にともない 478 百万円(同 60.4%増)と好調を維持いたしました。

また、飲食事業においては、売上高の減少にともない 35 百万円(同 34.1%減)となり、アミューズメント関連事業においても、減収にともない 27 百万円(同 27.8%減)にとどまりました。

その他の事業においては 3 百万円(同 91.9%増)となり、当社グループの営業利益は 374 百万円(同 70.6%増)となりました。

経常利益につきましては、子育て支援事業の増益が、アミューズメント関連事業と飲食事業の減益分を補い、当社グループ合計で 401 百万円(同 2.6%増)となりました。

一方、前年同四半期に比べて純利益が減少している要因は、前年同四半期に特別利益として受取保険金 142 百万円、特別損失として役員退職慰労金 74 百万円を計上していたためであります。この結果、当第 2 四半期純利益につきましては、222 百万円(同 6.6%減)となりました。

以上